

## ◆ 今週のコメント

- ・ 梅毒の報告が2例(30歳代, 70歳代, 共に男性)あります(第16週追加報告分含む。)。本年の累積報告数は12例となり, 過去10年間で最多の報告数となった平成26年(11例)をすでに上回っています。全国においても, 「感染症法」が施行された平成11年以降で最多となった昨年を上回るペースで1,003例が報告されており, 前年同時期の約1.4倍となっています。性別及び年齢階級別では, 男性が全報告数の73.4%(736例)を占めており, 特に, 20歳代から40歳代男性の報告が目立っています。
- ・ 咽頭結膜熱の定点当たり報告数は0.56(23例)で, 過去5年平均値を大きく上回る状態が続いています。例年, 6月頃から徐々に増加しはじめ, 7～8月に流行のピークを迎えます。プールの季節が始まり, さらに増加する可能性がありますので, 今後の発生動向に注意が必要です。

## ◆ 今週のトピックス: <手足口病>

- ・ 手足口病の定点当たり報告数は7.56(310例)となり, 過去5年間の同時期と比較して最も多い報告数となっています。本市では, 6月18日に警報を発令しており, 現在も継続中です。詳細をトピックスに掲載しています。

## ◆ 発生状況

### 全数把握の感染症

- ・ 五類: 梅毒(早期顕症Ⅰ期 1例, 早期顕症Ⅱ期 1例) 2例【1月以降の累積報告数 12例】

### 定点把握の主な感染症

(市内定点数 インフルエンザ定点68, 小児科定点41, 眼科定点10, 基幹定点1)

定点	感染症名	定点当たり報告数	報告数
インフルエンザ*	インフルエンザ	0.01	1
小児科 (降順5位まで)	① 手足口病	7.56	310
	② 感染性胃腸炎	5.32	218
	③ A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	1.61	66
	④ ヘルパンギーナ	0.95	39
	⑤ 咽頭結膜熱	0.56	23
眼科	流行性角結膜炎	0.60	6

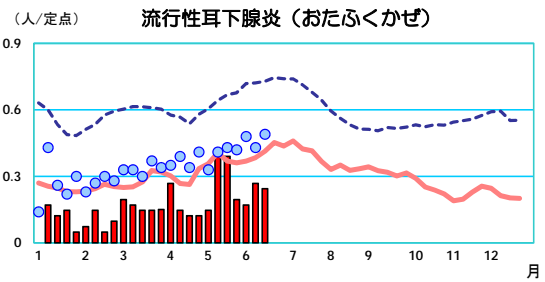
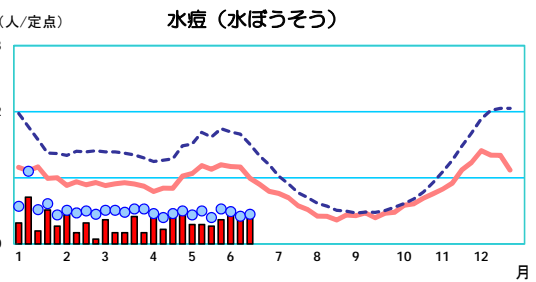
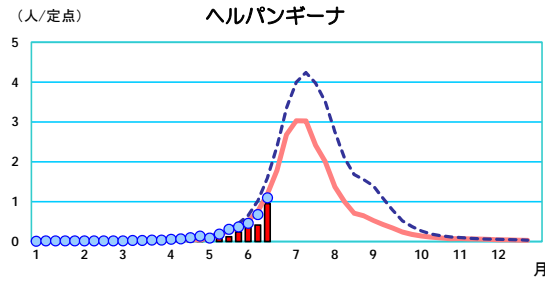
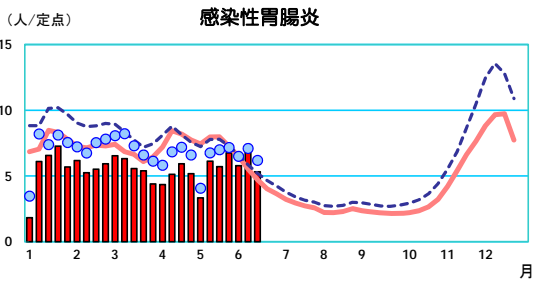
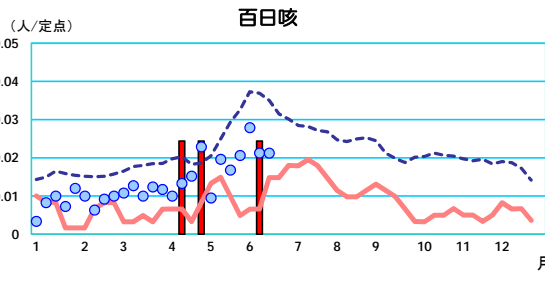
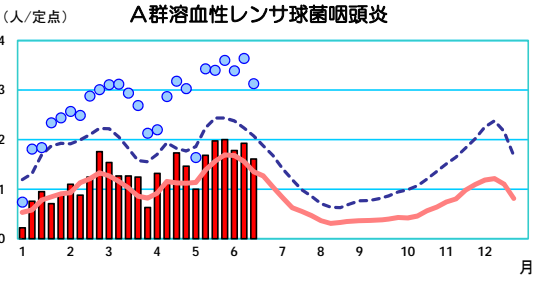
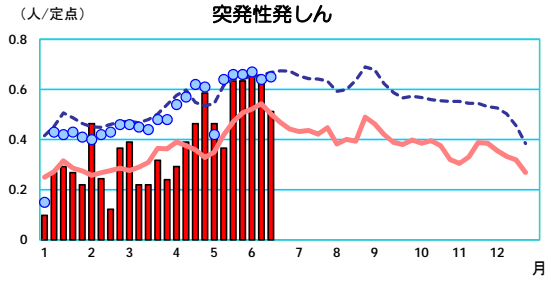
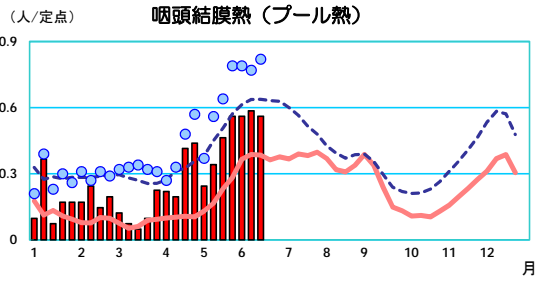
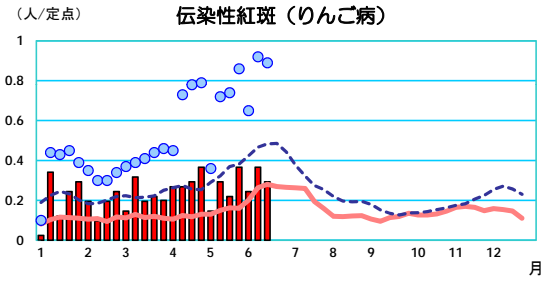
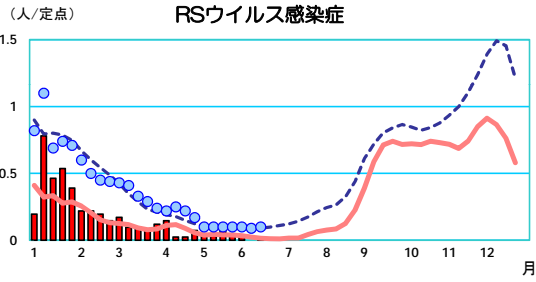
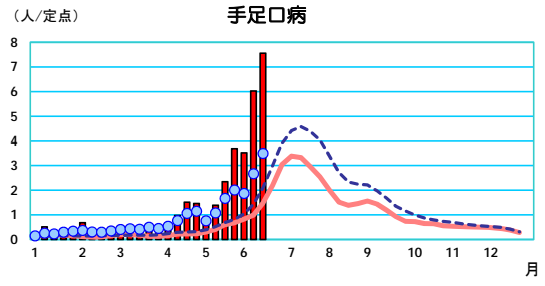
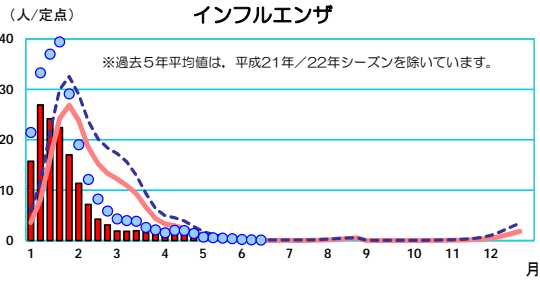
## 【次ページ以降の主な内容】

発生状況の概況グラフ / 今週のトピックス: <手足口病>

付表(疾病, 行政区別報告数 / 年齢階級, 疾病別報告数 / 週, 疾病別報告数)

(注)京都市のデータは, 平成27年6月25日現在の報告数で, 全国の還元データと若干異なる場合があります。  
また, 本情報での患者数は, 届出医療機関所在地での集計で, 患者の住所を示すものではありません。

# インフルエンザ及び小児感染症の疾病別推移グラフ（平成27年）



## 第25週(6月15日～6月21日)トピックス: <手足口病>

### 京都市及び全国の発生動向

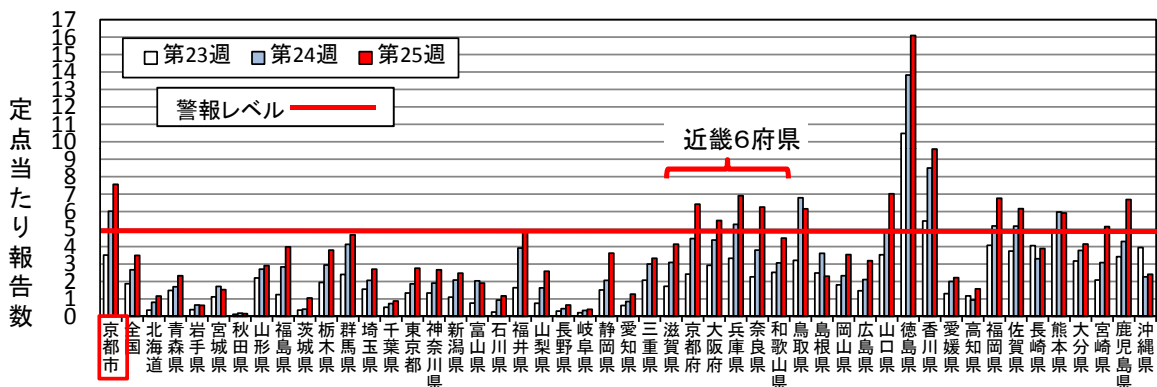
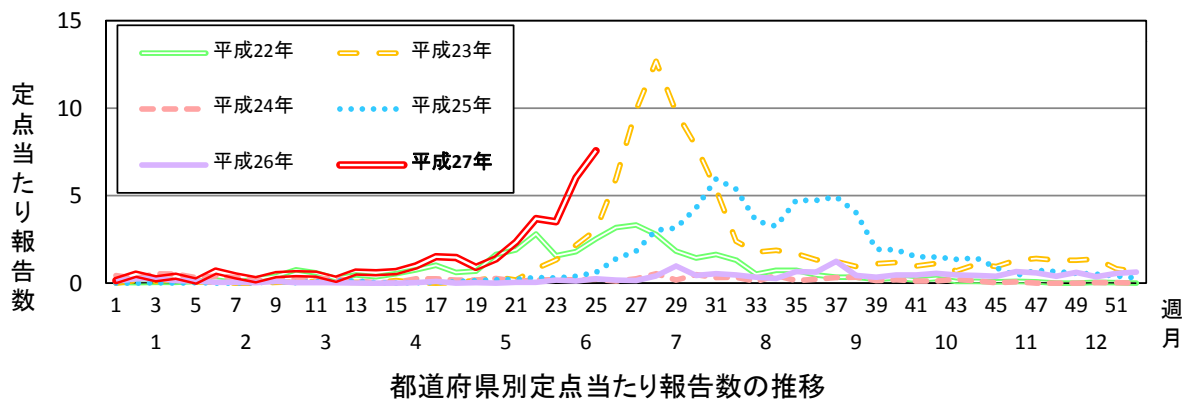
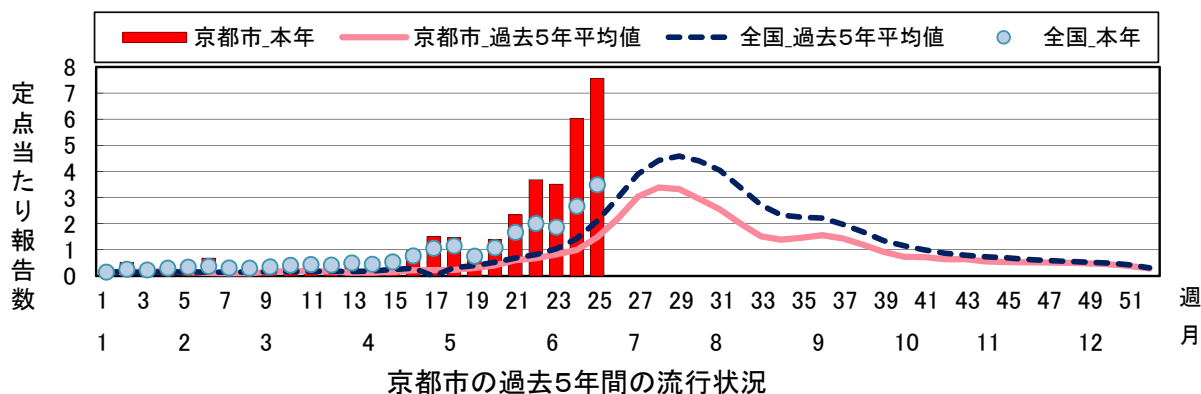
手足口病の定点当たり報告数は7.56(310例)となり、過去5年間の同時期と比較して最も多い報告数となっています。前週(6月8日～14日)の定点当たり報告数が6.02となり、国が定めている警報レベルである『5.0』を超えたことから、本市では、6月18日に警報を発令しました。近畿6府県では、先週に兵庫県、今週に入り、京都市、大阪府、奈良県が警報レベルを超えました。都道府県別では、多い順に徳島県、香川県、山口県となっています。今後さらに報告数が増加する可能性がありますので、今後の発生状況にいつそうの注意が必要です。

### 症状等

手足口病はエンテロウイルスが原因ですが、有効なワクチンや治療薬はなく、治療は対症療法となります。主症状は手や足、口に現れる水疱状の発疹で、熱は出ても37～38度と軽度です。手足の水疱に痛みはなく、破れることもありませんが、口の中の水疱が破れると痛みを伴う潰瘍となるため、乳幼児がかかると、飲み込むのを嫌がり、水分が取りにくくなり、脱水症状を起こすことがあります。口当たりの良いゼリー等で、こまめに水分補給をしましょう。症状がおさまった後も長期間(2～4週間)、便の中にウイルスが含まれますので、うつらないように、しっかりと手を洗うことや排泄物を適切に処理することが重要です。手洗いは流水と石けんで十分に行ってください。

### 予防

- ①大人も子どもも流水と石けんでしっかりと手を洗いましょう。
- ②排泄物を取り扱った後は、しっかりと手を洗いましょう。
- ③タオル等の共用はやめましょう。



T3201

京都市感染症発生動向調査情報

集計対象:平成27年第25週

疾病,行政区別報告数

平成27年6月15日～平成27年6月21日

データ入手日:平成27年6月25日

	インフルエンザ(※1)	RSウイルス感染症	咽頭結膜熱	頭炎 A群溶血性レンサ球菌咽	感染性胃腸炎	水痘	手足口病	伝染性紅斑	突発性発しん	百日咳	ヘルパンギーナ	流行性耳下腺炎	急性出血性結膜炎	流行性角結膜炎	細菌性髄膜炎(※2)	無菌性髄膜炎	マイコプラズマ肺炎	クラミジア肺炎(※3)	感染性胃腸炎(※4)	
男女合計																				
北	-	-	-	7	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-						
上京	-	-	-	4	4	-	8	1	3	-	-	-	-	-						
左京	-	-	5	11	33	7	46	2	2	-	2	1	-	-						
中京	1	-	-	1	7	1	10	-	-	-	3	1	-	2	-	-	-	-	-	-
東山	-	-	1	-	20	-	4	1	-	-	-	-	-							
山科	-	-	4	2	4	-	25	-	1	-	-	2	-	4						
下京	-	-	-	1	3	-	-	1	1	-	-	-	-							
南	-	-	-	4	20	-	36	1	1	-	16	3	-	-						
右京	-	-	5	12	37	-	54	3	4	-	-	-	-	-						
伏見	-	1	6	18	53	5	90	-	8	-	16	3	-	-						
西京	-	-	2	6	37	3	37	3	1	-	2	-	-	-						
京都市計	1	1	23	66	218	16	310	12	21	-	39	10	-	6	-	-	-	-	-	-

疾病,行政区別定点当たり報告数

	インフルエンザ(※1)	RSウイルス感染症	咽頭結膜熱	頭炎 A群溶血性レンサ球菌咽	感染性胃腸炎	水痘	手足口病	伝染性紅斑	突発性発しん	百日咳	ヘルパンギーナ	流行性耳下腺炎	急性出血性結膜炎	流行性角結膜炎	細菌性髄膜炎(※2)	無菌性髄膜炎	マイコプラズマ肺炎	クラミジア肺炎(※3)	感染性胃腸炎(※4)	
男女合計																				
北	-	-	-	1.75	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-						
上京	-	-	-	1.33	1.33	-	2.67	0.33	1.00	-	-	-	-	-						
左京	-	-	1.25	2.75	8.25	1.75	11.50	0.50	0.50	-	0.50	0.25	-	-						
中京	0.20	-	-	0.33	2.33	0.33	3.33	-	-	-	1.00	0.33	-	1.00	-	-	-	-	-	-
東山	-	-	0.50	-	10.00	-	2.00	0.50	-	-	-	-	-							
山科	-	-	1.00	0.50	1.00	-	6.25	-	0.25	-	-	0.50	-	4.00						
下京	-	-	-	0.50	1.50	-	-	0.50	0.50	-	-	-	-							
南	-	-	-	1.33	6.67	-	12.00	0.33	0.33	-	5.33	1.00	-	-						
右京	-	-	1.00	2.40	7.40	-	10.80	0.60	0.80	-	-	-	-	-						
伏見	-	0.14	0.86	2.57	7.57	0.71	12.86	-	1.14	-	2.29	0.43	-	-						
西京	-	-	0.50	1.50	9.25	0.75	9.25	0.75	0.25	-	0.50	-	-	-						
京都市計	0.01	0.02	0.56	1.61	5.32	0.39	7.56	0.29	0.51	-	0.95	0.24	-	0.60	-	-	-	-	-	-

※1 インフルエンザは、鳥インフルエンザ及び新型インフルエンザ等感染症は除くが、新型インフルエンザのうち、A/H1N1については含む。

※2 細菌性髄膜炎は髄膜炎菌、肺炎球菌、インフルエンザ菌を原因として同定された場合を除く。

※3 クラミジア肺炎はオウム病を除く。

※4 感染性胃腸炎は病原体がロタウイルスであるものに限る。

## 京都市感染症発生動向調査情報

集計対象:平成27年第25週

年齢階級, 疾病別報告数

平成27年6月15日～平成27年6月21日

データ入手日:平成27年6月25日

京都市	年齢1	総数	～5ヶ月	～11ヶ月	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	6歳	7歳	8歳	9歳	10歳-	15歳-	20歳-	30歳-	40歳-	50歳-	60歳-	70歳-	80歳以上
男女合計	年齢2	総数	～5ヶ月	～11ヶ月	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	6歳	7歳	8歳	9歳	10歳-	15歳-	20歳-	30歳-	40歳-	50歳-	60歳-	70歳-	80歳以上
	年齢3	総数	～5ヶ月	～11ヶ月	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	6歳	7歳	8歳	9歳	10歳-	15歳-	20歳以上	30歳-	40歳-	50歳-	60歳-	70歳以上	80歳以上
	年齢4	総数	0歳	1歳-	5歳-	10歳-	15歳-	20歳-	25歳-	30歳-	35歳-	40歳-	45歳-	50歳-	55歳-	60歳-	65歳-	70歳以上				
インフルエンザ(※1)	年齢1	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-
RSウイルス感染症		1	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
咽頭結膜熱		23	-	2	4	5	5	4	-	-	1	-	-	1	1	-	-	-	-	-	-	-
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎		66	1	-	2	2	9	5	6	11	13	6	1	3	-	7	-	-	-	-	-	-
感染性胃腸炎		218	2	16	30	24	16	21	9	18	16	9	8	21	3	25	-	-	-	-	-	-
水痘		16	-	-	-	2	1	-	1	3	5	3	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-
手足口病	年齢3	310	-	35	114	65	33	28	18	8	3	1	1	2	1	1	-	-	-	-	-	-
伝染性紅斑		12	-	-	2	-	3	-	-	4	1	2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
突発性発しん		21	1	9	10	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
百日咳		-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
ヘルパンギーナ		39	1	5	14	7	3	2	3	1	-	1	-	-	1	1	-	-	-	-	-	-
流行性耳下腺炎		10	-	-	-	-	3	-	3	2	1	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-
急性出血性結膜炎	年齢2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
流行性角結膜炎		6	-	-	-	-	2	-	-	1	-	-	-	-	1	-	-	-	-	2	-	-
細菌性髄膜炎(※2)		-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
無菌性髄膜炎		-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
マイコプラズマ肺炎	年齢4	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
クラミジア肺炎(※3)		-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
感染性胃腸炎(※4)		-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-

年齢階級, 疾病別定点当り報告数

京都市	年齢1	総数	～5ヶ月	～11ヶ月	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	6歳	7歳	8歳	9歳	10歳-	15歳-	20歳-	30歳-	40歳-	50歳-	60歳-	70歳-	80歳以上
男女合計	年齢2	総数	～5ヶ月	～11ヶ月	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	6歳	7歳	8歳	9歳	10歳-	15歳-	20歳-	30歳-	40歳-	50歳-	60歳-	70歳-	80歳以上
	年齢3	総数	～5ヶ月	～11ヶ月	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	6歳	7歳	8歳	9歳	10歳-	15歳-	20歳以上	30歳-	40歳-	50歳-	60歳-	70歳以上	80歳以上
	年齢4	総数	0歳	1歳-	5歳-	10歳-	15歳-	20歳-	25歳-	30歳-	35歳-	40歳-	45歳-	50歳-	55歳-	60歳-	65歳-	70歳以上				
インフルエンザ(※1)	年齢1	0.01	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	0.01	-
RSウイルス感染症		0.02	-	0.02	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
咽頭結膜熱		0.56	-	0.05	0.10	0.12	0.12	0.10	-	-	0.02	-	-	0.02	0.02	-	-	-	-	-	-	-
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎		1.61	0.02	-	0.05	0.05	0.22	0.12	0.15	0.27	0.32	0.15	0.02	0.07	-	0.17	-	-	-	-	-	-
感染性胃腸炎		5.32	0.05	0.39	0.73	0.59	0.39	0.51	0.22	0.44	0.39	0.22	0.20	0.51	0.07	0.61	-	-	-	-	-	-
水痘		0.39	-	-	-	0.05	0.02	-	0.02	0.07	0.12	0.07	-	0.02	-	-	-	-	-	-	-	-
手足口病	年齢3	7.56	-	0.85	2.78	1.59	0.80	0.68	0.44	0.20	0.07	0.02	0.02	0.05	0.02	0.02	-	-	-	-	-	-
伝染性紅斑		0.29	-	-	0.05	-	0.07	-	-	0.10	0.02	0.05	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
突発性発しん		0.51	0.02	0.22	0.24	-	-	0.02	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
百日咳		-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
ヘルパンギーナ		0.95	0.02	0.12	0.34	0.17	0.07	0.05	0.07	0.02	-	0.02	-	-	0.02	0.02	-	-	-	-	-	-
流行性耳下腺炎		0.24	-	-	-	-	0.07	-	0.07	0.05	0.02	-	-	0.02	-	-	-	-	-	-	-	-
急性出血性結膜炎	年齢2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
流行性角結膜炎		0.60	-	-	-	-	0.20	-	-	0.10	-	-	-	-	0.10	-	-	-	0.20	-	-	-
細菌性髄膜炎(※2)		-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
無菌性髄膜炎		-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
マイコプラズマ肺炎	年齢4	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
クラミジア肺炎(※3)		-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
感染性胃腸炎(※4)		-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-

※1 インフルエンザは、鳥インフルエンザ及び新型インフルエンザ等感染症は除くが、新型インフルエンザのうち、A/H1N1については含む。

※2 細菌性髄膜炎は髄膜炎菌、肺炎球菌、インフルエンザ菌を原因として同定された場合を除く。

※3 クラミジア肺炎はオウム病を除く。

※4 感染性胃腸炎は病原体がロタウイルスであるものに限る。

T3203

## 京都市感染症発生動向調査情報

集計対象:平成27年第25週

週, 疾病別報告数

データ入手日:平成27年6月25日

京都市 男女合計	5週前	4週前	3週前	2週前	1週前	今週
インフルエンザ ※1	14	6	9	8	4	1
RSウイルス感染症	2	3	2	1	-	1
咽頭結膜熱	14	19	23	23	24	23
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	69	81	82	73	79	66
感染性胃腸炎	251	234	277	237	284	218
水痘	12	11	15	21	16	16
手足口病	57	96	151	144	247	310
伝染性紅斑	12	9	15	10	15	12
突発性発しん	15	26	26	27	26	21
百日咳	-	-	-	-	1	-
ヘルパンギーナ	6	5	10	22	17	39
流行性耳下腺炎	16	16	8	7	11	10
急性出血性結膜炎	-	-	-	-	-	-
流行性角結膜炎	6	2	3	10	10	6
細菌性髄膜炎 ※2	-	-	-	-	-	-
無菌性髄膜炎	-	-	-	-	-	-
マイコプラズマ肺炎	-	-	-	-	-	-
クラミジア肺炎 ※3	-	-	-	-	-	-
感染性胃腸炎 ※4	-	-	-	-	-	-
合計	474	508	621	583	734	723

週, 疾病別定点当たり報告数

京都市 男女合計	5週前	4週前	3週前	2週前	1週前	今週
インフルエンザ ※1	0.21	0.09	0.13	0.12	0.06	0.01
RSウイルス感染症	0.05	0.07	0.05	0.02	-	0.02
咽頭結膜熱	0.34	0.46	0.56	0.56	0.59	0.56
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	1.68	1.98	2.00	1.78	1.93	1.61
感染性胃腸炎	6.12	5.71	6.76	5.78	6.93	5.32
水痘	0.29	0.27	0.37	0.51	0.39	0.39
手足口病	1.39	2.34	3.68	3.51	6.02	7.56
伝染性紅斑	0.29	0.22	0.37	0.24	0.37	0.29
突発性発しん	0.37	0.63	0.63	0.66	0.63	0.51
百日咳	-	-	-	-	0.02	-
ヘルパンギーナ	0.15	0.12	0.24	0.54	0.41	0.95
流行性耳下腺炎	0.39	0.39	0.20	0.17	0.27	0.24
急性出血性結膜炎	-	-	-	-	-	-
流行性角結膜炎	0.60	0.20	0.30	1.00	1.00	0.60
細菌性髄膜炎 ※2	-	-	-	-	-	-
無菌性髄膜炎	-	-	-	-	-	-
マイコプラズマ肺炎	-	-	-	-	-	-
クラミジア肺炎 ※3	-	-	-	-	-	-
感染性胃腸炎 ※4	-	-	-	-	-	-
合計	11.88	12.48	15.29	14.90	18.62	18.08

※1 インフルエンザは、鳥インフルエンザ及び新型インフルエンザ等感染症は除くが、新型インフルエンザのうち、A/H1N1については含む。

※2 細菌性髄膜炎は髄膜炎菌、肺炎球菌、インフルエンザ菌を原因として同定された場合を除く。

※3 クラミジア肺炎はオウム病を除く。

※4 感染性胃腸炎は病原体がロタウイルスであるものに限る。